

# 「桜」写真の優秀者を表彰

## 軸丸雅子さんの作品「花の舞」に最優秀賞



町交流通センターミナテラスに展示された「桜」写真全 72 作品

でいるというみなさんは、展示されている他の人の作品を興味深そうに眺めていました。

最優秀賞を受賞した軸丸さんの「花の舞」という作品は、軸丸さんの職場の近くの桜で、風で花びらが舞った時にあわてて撮ったという一枚。「いつも気にかけていた」と軸丸さんは笑います。

「職場と家のすぐ近くの桜で、私はこの木と一緒に育った。悲しいことやうれしいこと、この木に全て詰まっている。この写真は、普段から桜の手入れしている私たち地域、みんなの写真。木の隣の観音様が私たちにくれた、今までのご褒美だったのでは」。そう話す軸丸さんの目にはうれし涙が浮かんでいました。



作品「花の舞」で最優秀賞を受賞し、よろこびを語る軸丸さん

# 地域の風物詩として

## 小池秋永地域資源保全チーム

遊休農地を利用し、憩いの場を作ろうと、小池秋永地域資源保全チーム（代表・森川護さん、約50人）のみなさんが育ててきた、こあきしょうぶ園の花菖蒲が6月上旬、見ごろを迎えました。

この菖蒲園は、農地・水・環境保全事業の一環として、小池の水神さんの前にある約200㎡の遊休地を利用し、チームのみなさんが毎年整備を行っており、今年で5年目です。

見ごろは、毎年5月下旬から6月中旬です。代表の森川さんは「毎日、夫



今年も花の手入れが行き届いた、こあきしょうぶ園の菖蒲

婦で手入れを行っています。管理は大変ですが、きれいに咲いたときは感動しました。地域の風物詩として、多くの人に見ていただきたい。また、チーム以外のボランティアの人々のお手伝いもあり感謝しています」と活動に意欲を見せていました。